

公表

令和7年度 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援室kodomo鶴見東口教室（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2026年1月23日	～	2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54人	(回答者数) 37人
○従業者評価実施期間	2026年1月23日	～	2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	長く継続利用していただけるご利用者様多いことで、より信頼感が増していけるので、こちらからのご協力のお願いにも心よく応じて頂ける関係性があります。	長いご利用ですと、通年のカリキュラムがマンネリしたように感じられてしまうこともあるので、毎年新しいカリキュラムの導入や、子供の成長に合わせて、グレードアップしたカリキュラムを行なっています	通年の行事カリキュラムもさらに工夫を凝らしていきたいと思えます
2	保護者様からのお願い事や悩みに対しては、時間をおかないで素早い対応を心がけています。	困りごとの対策は、一つの方法で改善が出来なかったら、次の方法を提供し、段階を踏んで改善されるようにスタッフみんなで話し合いながら行っています	成果が見られるまで決してあきらめない支援を行ってまいります
3	経験豊かで、開所時から勤務されている先生方が多く、幼児期から通所の子供たちが多くいて、一人一人の成長の過程をしっかりと見えています。「出来た」「出来るようになった」の発見に敏感で保護者様と一緒に喜びを分かちあえる事が出来ています	一人一人の強みや苦手部分に着眼し、より力を引き出すポイントをのがさない支援を心掛け、「出来た」時の喜びをお子様や保護者様とタイムリーに共有しています。	親しい関係でも、言葉使いや生活習慣の関係性が雑にならないように礼儀と理性を持った支援を心掛けていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	成長とともに部屋の狭さは感じています。	広さを変える事はできません。	カリキュラムの内容や準備の段階で、動線に無駄がないように工夫して行っています
2	フィードバックの時に混雑してしまい、個人情報がかえってしまう事はあります。	保護者様がお迎え時に教室に入るスペースが狭く、密集してしまう。	フィードバックは月決めで保護者様にお渡ししているので口頭でのお話はなるべく簡潔に行えるように心がけていきます。
3			